



NO.1008

2015・3・1

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三三・四四五八  
F 四三三・四四五七



# 静湖園が民営化!

## 生活福祉委員会

市議会生活福祉委員会が2月20日に行われ、養護老人ホーム「静湖園」の整備方針が示されました。

静湖園は、昭和44年に開設され（昭和48年、50、51、54、59年に増築）、定員50名（居室25室のため定員25名で運用）、現在の入所者は20名で（うち要介護者13名、要支援者5名、その他2名）という状況です。以前から静湖園については、老朽化が問題になり、建替えをするなら市民と触れ合える市街地という議論がありました。

### 議会軽視ではないか!

松浦議員は、委員会の中で、「なぜ議会で十分な議論する場を持たずに事業を進めるのか、関係住民への説明計画、民設・民営で運営が成り立つのか、国や道の補助について、市として建設費や運営費の助成などについてどうなっているのか」と質問した。

その中で明らかになったのは、議会に報告する前に呼人地区の住民に概要を報告し了承を得ていること。さらに問題なのは、民設・民営なので、今後は3月議会以降は議会が係わることができないことになり、議会軽視と言わざるを得ません。

### 議会には報告のみなのか

計画の中で、要介護者が行き場がない中で、介護認定者が入所できる施設整備をすることは、評価できます。問題は、今回の生活福祉委員会

松浦議員は「時間がないという理由で、このようなり方は到底認められませんか。」と主張しました。



## いよいよ東奔西走 敏勝

市民の方に「どちらも市民から選ばれた議員の合議体の議会と市長を頂点とする市役所の関係で、チエック機能と政策をつくる機能をあわせ持つ議会が本気になれば、市長の提案を修正したり廃案にすることができると聞かれました。確かにそうですが、残念ながら現在の状況は、市長の提案を付託された委員会で、十分な議論もなしに「無し!」の一言で通ることが、ままあります。共産党を除く「オール与党」体制と言われています。

定数が削減された後の新しい議会は、現在の3常任委員会から2委員会に変わるので議員の守備範囲も増えます。その時に「無し!」の一言は無いですと思えますが…。

## 菊地ひろし まっしぐら!

先週号に書いた市営住宅の手すり破損の件は、23日に市役所に確認したところ「現場を確認して、対応する」とのことでした。

さて、この冬の降雪はまだ終わってわけではありませんが、「住居表示板が除雪作業のじゃまになっているので、考えてみてはどうか」と住民の方から意見が寄せられました。色々な角度からの意見が聞かれ、本当にそれらの意見を活かせる市政にしていききたいと思う毎日です。

## 松浦奮戦も せきこ

先日、市民から市営住宅の駐車場に来客用の駐車場がないと苦情がありました。少なくとも1棟当たり3台前後の駐車スペースがないと、訪問してきた人が、駐車することができず困っているとのことでした。全ては調べていませんが、確かに来客用の駐車場がない市営住宅がいくつかありました。工夫すればスペースがとれるところもありそうなので、実現のために努力したいと思います。

また、来客用の駐車場があったとしても、ここ数年の冬は雪が多く、来客用の駐車場の看板が埋まって見えなくなりますが、冬でも分かるような看板が必要です。日本共産党市議団としても改善するために取り組むことにしたいと思います。

## 流水

昨年2月にも友人を亡くしました▼私が初めて仕事に就いたのは大阪民医連の国際平和病院という所です。職員はよく働き、明るく楽しい職場でした。しかし1952年当時の政治権力は「民医連はアカの病院」と攻撃しマスコミも同調の報道を連日書きまくり、とうとう病院は閉鎖に追い込まれ職員はバラバラになりました▼10数年後6人で「平和会」と名付けた同窓会を作り今も旧交を暖めています。亡くなった2人は平和会の仲間です。2人は心臓病や肺結核を抱え、手術や入院を繰り返しながらも自分達が住む世の中を憲法の理念に少しでも近づけるようにと頑張っていました。その活動の一端は近所のお年寄りのために落語会や映画会、時には健康の話であったりと知恵を絞ったの草の根の活動でした▼赤旗日刊紙の党員の訃報欄を見ると悲しくなります。戦中戦後の苦難の生活を知っている人がいなくなっていく。戦争のむごさと平和の尊さを早くみんなに伝えなければとの思いが胸に刺さります▼昨年の衆院選後、共産党の志位委員長は「世代的継承」を訴えました。思っておせば私も平和と民主主義の社会を作る為の一員になるのだと張り切っていた若い頃、あれから60余年衰えていく体力を自覚しながらもできることで役に立てたらと思っています▼可能性をいっぱい秘めた若者たちが活動に参加してくださることを願います。(U)